



＜概要＞

今回募集するのは、果樹生産振興分野で特に“**梨づくり**”に携わっていただく地域おこし協力隊です。鳥取県は梨の産地として有名ですが、三朝の梨はこれだけではありません！濃厚な甘みが自慢の新甘泉、大玉で有名な王秋など豊富な種類を生産しています。

ところが、三朝町でも**農家さんの高齢化、担い手不足**が深刻化し、このままでは三朝から梨が…。

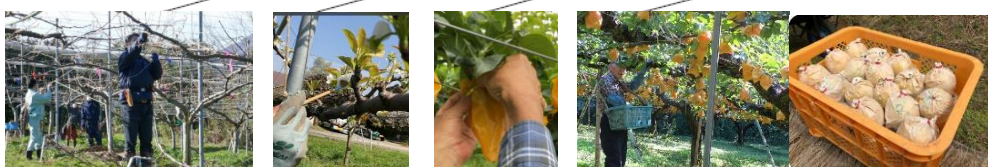
町内梨農家さんの全面協力を得て、**梨づくりに取り組む地域おこし協力隊を募集します！！**

＜活動内容＞

地域おこし協力隊として、梨づくりに必要な技術等の習得に励んでいただきます。町内梨農家さんのもとでの修行や農業大学校、鳥取梨づくり大学等の専門機関での研修を受けながら将来の就農に向けた活動を町全体でサポートします。梨というと消費者目線では、夏や秋の食べ頃をイメージしますが、農家さんは1年をかけて美味しい梨づくりの環境を整備します。実際の現場で地域の方との関わりを大切に、時には厳しさや辛さを感じることもあると思いますが、美味しい梨ができれば努力が報われること間違いナシ(梨)！！

(梨づくりの1年間イメージ)

品種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梨	剪定			交配	摘果	袋掛け	枝管理	収穫		土作り	剪定	



裏面に続く↓

◇梨農家として独立就農するまでのスケジュールイメージ

研修1年目	梨生産の年間の流れを理解し、主要な農作業について習得する。 ・町内梨農家での技術取得 ・農業大学校の研修なども活用（毎年10月開講、1年間）
研修2～3年目	技術面と併せて経営面の知識等を習得し、就農計画の作成・認定を目指すとともに、独立自営就農に向けた準備を進める。 ・就農農地の確保（果樹園、畑の借入等） ・住居の確保（定住を想定） ・必要品等の確保に向けた準備（農業機械(共同利用、借入含む)・生産資材等） ・青年等就農計画の作成（国・県・町の支援制度を活用する場合は必須） など
独立自営就農開始	既存の果樹園を借り受け、営農を開始する。 就農計画にもとづき、苗木の新植や機械・設備の整備などに着手。

※上記は、あくまでも一例で、実際は協力隊員としての活動や技術の習得の状況などを踏まえて、町や関係機関と協議を行いながら進めます。また、就農に至らない場合であっても、町内に定住し、農業関係等の職種に就き、町内農業の支援を行うことも想定されます。

◇農業全般での地域との関わり方

- ・集落の農業総事などに参加・協力

町内には、約60の集落があります。各集落では、田んぼや畑の草刈り・鳥獣対策の電気柵の設置等の安定した農作物の生産のための取組をされています。地域おこし協力隊として、これらの取組にも積極的に参加し、知識やつながりを増やしてください！

- ・農業関連事業・イベント等に協力

町や地域が開催するイベント等で町内農作物のPR・販売等のお手伝いをお願いすることがあります。生産者だからこそ話せる梨づくりエピソードなどを駆使して、積極的な宣伝活動を！



一緒に梨づくりに取り組む仲間を待っています！！

＜採用に関すること＞

- ・三朝町会計年度任用職員として採用します。(雇用関係あり)
- ・第1次選考(書類審査)及び第2次選考(面接による審査)により採用者を決定します。

【問合せ先】

- ・地域おこし協力隊制度に関すること

三朝町企画健康課 (TEL)0858-43-3506、(Eメール) kikaku@town.misasa.tottori.jp)

- ・募集内容に関すること

三朝町農林課 (TEL)0858-43-3515、(Eメール) nourin@town.misasa.tottori.jp)

※募集に係る詳細は、「令和7年度三朝町地域おこし協力隊募集要領」をご覧ください。